



# 県議員

# 林もとひとレポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

たくさんの方の成田市民の後押しで再選を果たし、再び県議会の舞台で活動することになった林幹人県議員は、所属する総合企画水道常任委員会の委員長に就任しました。同委員会の委員長に就任した林幹人県議員は、原発事故対策が盛り込まれた補正予算案が主な議題になった6月議案、請願はありませんが、成田水道管の液化化被害をはじめ、成田空港問題、八ッ場ダムについて、県政が抱える当面の課題について質疑が行われました。林県議はリーダーシップを発揮して質疑を円滑に進め、その結果を本会議で報告しました。

6月県議会での総合企画水道常任委員会の質疑の様々と、可決された補正予算について特集します。



総合企画水道常任委員長としてリーダーシップを発揮!

## 水道汚泥からセシウム 安心への対策が急務!

林委員長はじめ12人の委員で構成する総合企画水道常任委員会での質疑は、やはり東日本大震災の被害関連が中心になりました。福島第一原子力発電所の事故で飛散した放射性物質セシウムが、県内の浄水場汚泥から検出され、問題になりま

浄水場の汚泥について  
林委員長はじめ12人の委員で構成する総合企画水道常任委員会での質疑は、やはり東日本大震災の被害関連が中心になりました。福島第一原子力発電所の事故で飛散した放射性物質セシウムが、県内の浄水場汚泥から検出され、問題になりました。浄水場の汚泥からセシウムが検出されたことについて、委員から質問がありました。

これに対して、県の担当者は、北千葉広域水道企業団の北千葉浄水場で検出されたセシウム濃度は、20ベクレル以下で、最大値は41ベクレル以下です。これは、国の通知が、現在、リサイクル業者及び管理型処分場の業者と協議中」と答えました。

千葉県では、浄水場の汚泥は他のものと混ぜ合わせて、ほとんどがセメント原料として利用されています。また、放射線量は、放射能濃度が50分の1程度に薄まると考えられます。また、震災では地盤の液化で、水道管が破損し、水道水が汚染された可能性があります。

成田空港について  
震災で外国人観光客が激減しましたが、成田空港の乗降客がどのくらい減少したのかとの質問に対し、外国人客の入国者数の減少の影響で、4月は前年比で70%のマイナス。その後、5月の外国人入国者数は、47%減となっており、依然厳しい状況の中、改善の兆しが見えているとの回答がありました。

放射能汚染で9市町が要望  
東日本大震災の発生以来、被災した福島第一原子力発電所からの放射能汚染が、成田市をはじめ、周辺の9市町が連名で、周辺9市町長の健康不安を解消し、住民の健康と安全・安心な生活環境を確保して欲しいと森田知事に要望しました。

要望したのは、小泉成田市長ほか、佐倉・四街道市、印西・白井・富里市、酒々井・栄の8市町の首長です。要望書の内容は、放射線モニタリングポイントを増設し、測定値の公表に基き、放射線量の規制基準を示すように国に働きかけを求めました。

東葉高速鉄道について  
3000億円の借金を抱えている東葉高速鉄道問題が、県費で多額の支援がさ

林もとひと 県議・プロフィール

○略 歴○	
昭和48年9月	銚子市に生れる
平成4年3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年3月	玉川大学文学部卒業
	米国ロードアイランド州 語学留学
平成10年4月	空港グランドサービス入社
平成12年4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年4月	衆院議員・林幹雄秘書
平成19年4月	千葉県議会議員初当選
平成23年4月	千葉県議会議員2期目当選
○現 職○	
・県議会	総合企画水道常任委員長
・自民党	成田市支部幹事長

